

# 記入例

# 普通貸付統合申込み

～8月受付、9月末資金交付の場合で上位選択をした場合～

| 普通貸付統合申込書   |                                     |                   |
|---|-------------------------------------|-------------------|
| 申込額 (A)+(B)   |                                     | 1,509,971 円       |
|   | 既 存 貸 付                             | 新 規               |
| 貸 付 番 号   | 2009000××× 号                        |                   |
| 貸 付 金   | 〇〇年9月末残高 (予定)<br>( A ) 509,971 円    | ( B ) 1,000,000 円 |
| (A) + (B) = <u>1,509,971</u> 円 … ( C )<br>統合申込金額 <u>1,550,000</u> 円 … ( D )   |                                     |                   |
| 上記の金額を申込みますので、統合して下さるようお願いいたします。  |                                     |                   |
| 鹿児島県市町村職員共済組合 理事長 殿<br>令和〇〇年 8月 8日<br>所 属 所 名 〇〇 市<br>組 合 員 証 番 号 123 号<br>住 所 〇〇市〇〇1丁目15-1<br>氏 名 共 済 一 郎 (印)  |                                     |                   |
| ※送金額  | 上位選択 (D) - (A) = <u>1,040,029</u> 円 |                   |
|   | 下位選択 (B) = 円 { (C) - (D) = 円返納 }    |                   |
| 注(1) ※は共済組合の記入欄につき記入しないこと。<br>(2) (D)は5万円単位の額として(C)の額の直近上位又は下位の額を記入する。<br>(3) 直近下位の額で申込をした場合、申込人はその差額 {(C)-(D)の額} を資金交付の当月20日までに償還するものとする。この場合、組合は(B)の額を送金する。<br>(4) <u>直近上位の額で申込みした場合、組合は(D)-(A)の額を送金する。</u> |                                     |                   |

資金交付予定の月末の残高 (申込月の翌月末残)

合算して5万円単位の上位を選択 (150万円 又は 155万円)  
この金額が統合貸付申込金額となります

この金額を送金します

※この欄は記入しないでください

- 1 上位選択をすると、必要な金額よりも多い金額を送金することになります。
- 2 下位選択をすると、端数金額を返還して頂くことになります。

下位選択をした場合の取り扱いについては、次ページの記入例をご参照ください。

※現在、普通貸付を借受けている方が、さらに普通貸付を申し込む場合 (普通貸付の統合) に添付してください。

# 記入例

# 普通貸付統合申込み

～8月受付、9月末資金交付の場合で下位選択をした場合～

| 普通貸付統合申込書  |   |                 |
|--|---|-----------------|
| 申込額 (A)+(B)  |   | 1,509,971 円     |
|  | 既 存 貸 付   | 新 規             |
| 貸付番号   | 2009000××× 号  |                 |
| 貸付金  | 〇〇年9月末残高(予定)<br>(A) 509,971 円                               | (B) 1,000,000 円 |
|  |   |                 |
| (A) + (B) = <u>1,509,971 円</u> … (C)<br>統合申込金額 <u>1,500,000 円</u> … (D)  |   |                 |
| 上記の金額を申込みますので、統合して下さるようお願いいたします  |   |                 |
| 鹿兒島県市町村職員共済組合 理事長 殿<br>令和〇〇年 8月 8日<br>所 属 所 名 〇〇 市<br>組 合 員 証 番 号 123 号<br>住 所 〇〇市〇〇1丁目15-1<br>氏 名 共 済 一 郎 (印)   |   |                 |
| ※送金額   | 上位選択 (D) - (A) = _____ 円                                    |                 |
|  | 下位選択 (B) = <u>1,000,000 円</u> {(C)-(D) = <u>9,971 円</u> 返納} |                 |
| 注(1) ※は共済組合の記入欄につき記入しないこと。<br>(2) (D)は5万円単位の額として(C)の額の直近上位又は下位の額を記入する。<br>(3) <u>直近下位の額で申込をした場合、申込人はその差額 {(C)-(D)の額}を資金交付の当月20日までに償還するものとする。この場合、組合は(B)の額を送金する。</u><br>(4) 直近上位の額で申込みした場合、組合は(D)-(A)の額を送金する。 |   |                 |

資金交付予定の月末の残高(申込月の翌月末残)

合算して5万円単位の下位を選択  
150万円 又は155万円  
 この金額が統合貸付申込金額となります

この金額を送金します

※この欄は記入しないでください

資金交付月の20日までに共済組合へ返納

- 1 上位選択をすると、必要な金額よりも多い金額を送金することになります。  
 上位選択をした場合の取り扱いについては、前ページの記入例をご参照ください。
- 2 下位選択をすると、端数金額を返還して頂くことになります。

※現在、普通貸付を借受けている方が、さらに普通貸付を申し込む場合(普通貸付の統合)に添付してください。